

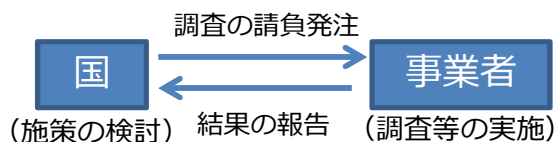


*Strategic Approach to International Chemicals Management：国際的な化学物質管理に関する戦略的アプローチ

背景・目的

- 2002年9月、持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD)で定められた実施計画において、**2020年までに化学物質の製造と使用による人の健康と環境への著しい悪影響を最小化することを目指すとの目標(WSSD 2020年目標)**を設定。
- 2006年2月、第1回国際化学物質管理会議(ICCM1)がドバイで開催され、WSSD 2020年目標達成のための方途としてサイカム^{サイカム}を採用。2012年9月「化学物質と環境に関する政策対話」での議論を踏まえ、化学物質対策に関する我が国の今後の戦略を示すものとして、環境省が関係各省の施策を取りまとめ、政府として「SAICM国内実施計画」を策定。
- 2015年9月、第4回国際化学物質管理会議(ICCM4)がジュネーブで開催され、我が国からはSAICM国内実施計画の点検結果を発信。引き続き本事業により、SAICM国内実施計画の見直しを含め、同計画に基づく化学物質対策を推進していく。

事業スキーム



事業概要

○ SAICM国内実施計画の見直しに向けた検討

SAICM国内実施計画の点検結果とICCM4の結果を踏まえて環境省が、関係各省と協議し、計画の見直しに向けた検討を進める。

○ 新規政策課題に関する調査

各国の取組状況及び我が国における取組の現状等を調査する。

○ 「化学物質と環境に関する政策対話」の実施

市民、労働者、事業者、行政、学識経験者等の化学物質に関係する多様な主体が参加し、化学物質と環境に関する政策に係る合意形成を目指す。

H28年度

SAICM国内実施計画の見直し

- ・平成26～27年に行うSAICM国内実施計画の点検結果、及びICCM4の結果を踏まえ、SAICM国内実施計画の見直しを検討、必要に応じて改定する。
- ・WSSD2020年目標の達成に向けた道筋を示す。

期待される効果

- WSSD2020年目標の達成
- 2020年以降の国際的化学品管理に関する枠組み構築への貢献